

A Study of the Japanese Adverbial Clause

TIO Sunbun

日語副詞子句的分類與描述

趙 順 文*

〔摘 要〕

各種副詞子句的探討雖各有專論，但以個人觀點與學習者立場加以宏觀地描述者首推益岡（1992）與小泉（1993）。本文延續此一觀點，以筆者個人研究心得，將副詞子句概括性加以描述，其中細節方面仍值得檢討，但大致上將副詞子句條理化成①引用句②期待句③意圖句④時間句⑤場所句⑥條件句⑦反條件句⑧結果句⑨反結果句⑩目的句⑪樣態句⑫並列句等 12 類，不失研究的正確方向。

【關鍵詞】

副詞子句（副詞節）、接續助詞（接續助詞）、母句述語（主節の述語）、子句述語（從節の述語）、固語（間接目的語）、性詞（形容動詞）

1. 前 言

子句與母句之間的連接，在日語可透過接續副詞（相當於傳統文法的接續助詞）之類的連詞來表現；即子句修飾後接的接續副詞來形成副詞子句，並充當題目或補語來修飾後接的母句。請參考下列句子：

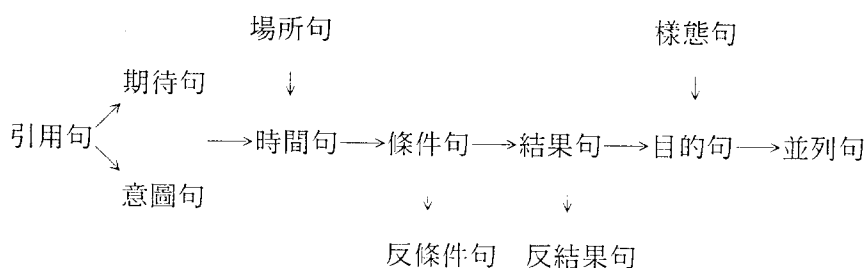
* 作者為本校東方語文學系教授

(1) [[手術後、ガンと言われた] [とき]] はショックだった。

(2) [[子供はテレビゲームに夢中し] [て]]、困る。

句子(1)的副詞子句「手術後、ガンと言われたときは」充當述語「ショックだった」的題目；而句子(2)的副詞子句「子供はテレビゲームに夢中して」則充當述語「困る」的補語。

各種副詞子句的探討雖各有專論，惟以個人觀點與學習者立場加以宏觀地描述者，首推益岡(1992)與小泉(1993)。本文延續此一觀點，以筆者個人研究心得，將副詞子句概括性加以描述。針對於描述當中所遇到的問題也提出淺見。副詞子句的分類主要參考小泉(1993: 230)，分成下列幾種(注1)。



2. 副詞子句的描述

2.1 引用句

句子的引用方法分為直接引用與間接引用。直接引用為說話者針對某人的談話或思考內容原封不動地加以描述，通常用引號「……」表達出來。但不引起誤解時也可不用引號。間接引用為說話者針對某人談話或思考內容，經過本身的觀點主動整理後加以描述出來。直接引用的例句如下：

注1：惟小泉(1993: 225)將引用子句、期待子句、意圖子句視為名詞子句。

日語副詞子句的分類與描述

- (3) 先生は生徒たちに「その文章を換えなさい」と言った。
- (4) 御用学者は「当局の悪口を言う者は官吏になりたがる者ばかりだ」と宣伝した。
- (5) 乗客が汽車はいつ動きますかと尋ねていた。
- (6) 彼女は妹が本当に理解するかしらと思っている。
- (7) 私は友人数人をお茶に誘おうと考えた。
- (8) 担当者はこの計画はまずいなあと指摘した。

例句(3)與(4)為談話内容的直接引用；而例句(5)到(8)則為思考内容的直接引用。相對地以下的例句為間接引用。

- (9) 部長は出張報告は翌日出すと言った。
- (10) 校長は子供は両親に孝行すべきだと話した。
- (11) 娘は母に今会社を出たところだと伝えた。
- (12) 関係者はここは人材を育成する絶好の場であると思っている。
- (13) 青年は単独で恋敵と対決するのが良策だと考え直した。
- (14) 当局では犯人が自殺したのではないかと疑っている。

例句(9)到(11)為談話内容的間接引用；而(12)到(14)為思考内容的間接引用。

要注意的是表示談話或思考内容的間接引用子句如果屬於「NがN'だと」形式，而表示名詞(N)的屬性為「N'」時，就可以改寫成「NをN'だと」的形的。請參考下列例句：

- (15) 市民は彼が(=を)愛国者だと言っている。
- (16) 学校側ではこの学生が(=を)無責任だと考えている。
- (17) あ的那个人は(=を)住所不定だと思いますか。
- (18) みんなが彼の沈黙を同意だと解釈した。

例句(15)到(17)的引用子句內的主語「が」助詞，都可以改寫成受語助詞「を」；(18)句的引用子句的主語「彼の沈黙」則甚至於非用受語助詞不可，這是因為在這個例句裡的母

句述語不是一般的言談動詞「言う、話す、尋ねる、伝える」或思考動詞「思う、考える」，而是較具體及物性的「解釈する」。

事實上這些引用子句「～と」可以解釋為母句述語動詞的受語一如名詞助詞「…を」是述語動詞的受語（注2）。

- (19) { 良太は恋人との結婚を諦めた。
 { 良太は恋人と結婚できないと諦めた。
- (20) { 皆が社長にベースアップの必要性を言った。
 { 皆が社長にベースアップは必要だと言った。
- (21) { 外科医は手術の失敗を思っていた。
 { 外科医は手術が失敗したと思っていた。

例句(19)到(21)的引用子句的「恋人と結婚できない(と)」、「ベースアップは必要だ(と)」、「手術が失敗した(と)」都與名詞助詞「恋人との結婚(を)」、「ベースアップの必要性(を)」、「手術の失敗(を)」相對應，因而可以分別視為述語動詞「諦めた」、「言った」、「思った／思い出した」的必用成分（即受語）。但是下列例句的引用子句則不能視為母句述語動詞的受語。

- (24) 見は今の生活は安定していると、嬉しそうだった。

在例句(22)到(24)裡，因句述語的「ねぎらってくれた」、「行った」、「嬉しそうだった」本身已經常有必用成分的主語或受語，因而引用子句只能視為可用成分。此類引用子句的用法，對國人而言是較難的用法。

2.2 期待句

母句述語動詞表示命令，請求，建議，祈求等等期待內容時，必用成分的「…を」受語常

注2：在趙(1994)「必須成分の階層性」一文裡，針對母句述語的受語必用成分如何衍生成為名詞子句或副詞子句做了詳細的探討。

轉化成期待的副詞子句而使用「基本形＋ように」，以「～ように」表示之。

(25) 部隊長は部下に橋の爆破を命令した。

→部隊長は部下に橋を爆破するように命令した。

(26) 課長はお手伝いさんに子供の面倒を頼んだ。

→課長はお手伝いさんに子供の面倒を見てくれるように頼んだ。

(27) 私達は一般市民に自然保護を提案した。

→私達は一般市民に自然を守るように提案した。

(28) 人々はいい暮らしを祈っている。

→人々は暮らしがよくなるように祈っている。

句子(25)到(28)母句述語動詞「…を命令した」、「…を頼んだ」、「…を提案した」、「…を祈っている」各與「～ように命令した」、「～ように頼んだ」、「～ように提案した」、「～ように祈る」互換。

要注意的是表示目的「～ため」的類語「～ように」在語法上雖也是副詞子句，但對於母句述語而言卻是可有可無的可用成分，請參考下列例句：

(29) 誰でも理解できるように、詳しく説明した。

(30) 院生がよく研究できるように、環境を整えた。

(31) 受験生は試験に落ちないように、真剣に勉強している。

句子(29)到(31)的「～ように」為母句述語動詞的可用成分表示期望的目的。所謂期望的目的意指說話者帶著盡人事聽天命的心態，期望目的能够達成。因此「～ように」內的子句述語常為說話者不易掌控的動作或狀態。

2.3 意圖句

母句述語動詞表示意圖內容時其必用成分的「…を」受語常轉化成意圖的副詞子句而使用「動。+(よ)うと」，以「～うと」表示之。

(32) 理沙は支出減少を工夫した。

→理沙は支出を減らそうと工夫した。

(33) 彼らは太平洋横断を計画した。

→彼らは太平洋を横断しようと計画した。

(34) 見習い医師は血液検査を試みている。

→見習い医師は血液を検査しようと試みている。

句子(32)～(34)的副詞子句「～うと」都原為母句述語動詞的「…を」受語轉化而成。

值得一提的是此類的「～うと」有時由母句述語動詞的必用成分「…に」固語轉化而成。此時的「…に」固語功能相當於「…を」受語。

(35) 選手たちは金メダル獲得に努めている。

→選手たちは金メダルを取ろうと努めている。

(36) 仲人は二人の仲直りに苦心している。

→仲人は二人を仲直りさせようと苦心している。

(37) 徳田さんは論文の仕上げに慌てた。

→徳田さんは論文を仕上げようと慌てた。

句子(35)到(37)的母句述語動詞的必用成分「…に」固語即「…に努めている」「…に苦心している」「…に慌てた」可和「～うと努めている」「～うと苦心している」「～うと慌てた」互換。

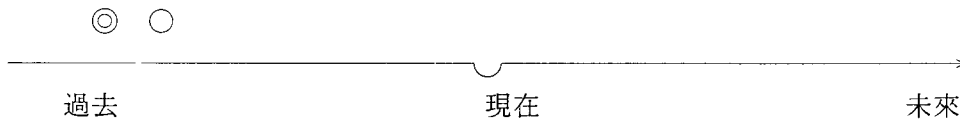
2.4 時間句

子句述語時間與母句述語時間比較之下，可分為先發生、同時發生、後發生。記號子述語先發生「◎」，同時發生「●」，後發生「◐」；母句述語發生時間「○」代表，觀察下列例句：

日語副詞子句的分類與描述

- (38) バスを降りた時、私は旧友に会いました。
- (39) バリへ行った後、彼女は香水を買った。
- (40) 大学に入ってから、もう三年になりました。
- (41) 彼は有名な彫刻家になった後に、大金を儲けた。

例句(38)到(41)子句述語時間皆表示先發生。可圖示如下：



要注意的有一類的時間子句表示發生後而緊接著母句述語發生。兩者時間密切連接在一起，但原則上此時間子句仍屬於先發生。

- (42) その犬は私を見た途端、吠え出した。
- (43) 地震に揺れを感じると同時に、僕は外へ飛び出した。
- (44) 目覚ましが鳴るやいなや、がばっと飛び起きた。
- (45) 男は警官を見るなり、逃げ去った。
- (46) 息子はお金が入るそばから、使ってしまった。

例句(42)到(45)子句述語的時間與母句述語的關係可圖示如下：



表示同時發生的例句如下：

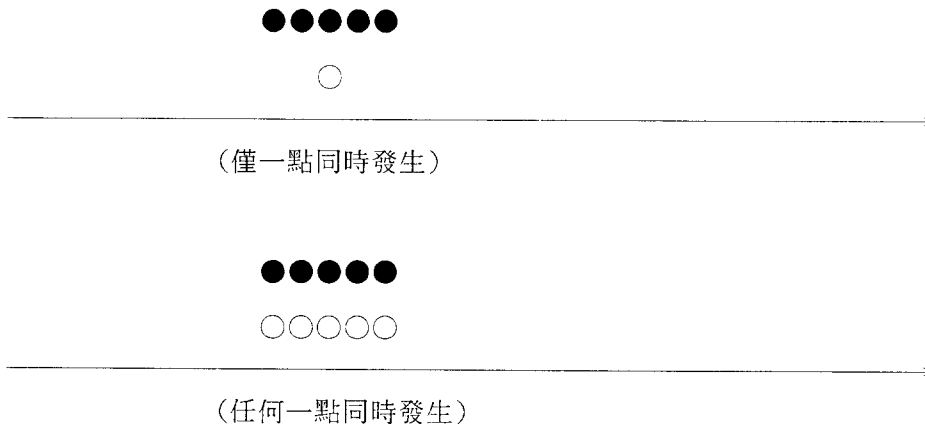
- (47) 長女が三才の時に、彼はフランスに留学した。
- (47)' 散歩している時に、突然雨が降りだした。

(48) レストランで食事をしている間に、大火事に会った。

(49) 私が小さいとき、実家はとても貧乏だった。

(50) 京都にいる間は、お寺を見物するつもりだ。

例句(47)到(50)皆表示子句述語與母句述語同時發生。要注意的是此類子句述語的時間經常為一定幅度的期間，而母句述語僅此期間的某一點同時發生如例句(47)到(48)；相對地母句述語在此期間的任何一點同時發生如例句(49)(50)。可圖示如下：



表示後發生時，常用的有「前」、「前に」、「まで」、「までに」、「内に」。

(51) 鈴木さんは俳優になる前は、モデルをしていた。

(52) レポートを書く前に、資料をちゃんと集めるべきだ。

(53) 社長が来るまでに、出張報告を出しましょう。

(54) フラッシュが付くまで、お待ちください。

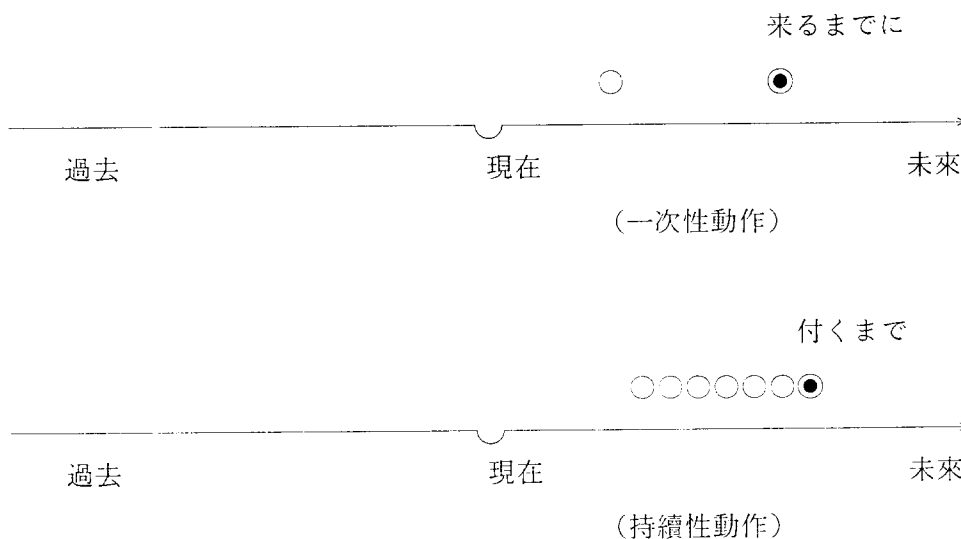
(55) テレビを見ている内に寝てしまった。

(56) 友達が日本にいる内に遊びに行きたい。

(57) 忘れない内に、早くノートに書いておいた。

例句(51)到(57)皆表示子句發生於母句述語之後。要注意的是「～までに」表示此

期限前一次性的動作：「～まで」表示此期限前持續性的動作。子句「～内に」為狀態或持續性動態子句述語，而母句述語為無意性動詞，如例句（55）。但表示意外結果可與「～している間に」互換。「～内に」為狀態子句述語或「～ない内に」為動作子句述語。則子句述語成立前母句述語必須實現如例句（56）（57）。現以例句（53）（54）為例可圖示如下：



2.5 條件句

表示二事件的依存關係為條件表現，此依存關係基本上源於因果或邏輯法則。這些法則有些來自於個人經驗，有些則來自於歸納的結果。而二事件的依存關係不按照因果或邏輯時，則為反條件表現。

條件表現通常使用「～なら」「～ば」「～と」「～たら」等形式，請參考下表（注3）：

注3：性詞（形容動詞）變化形式比照名詞。

	條件形	基本形 [タ形]	基本義
～ば、 ～ので あれば (= (の)なら)、	名であれば (=なら (ば)) 形ければ 動。(れ)ば 動。ていれば	名な [名だった] のであれば (= (の)なら) 形い [形かった] のであれば (= (の)なら) 動。 [動。た] のであれば (= (の)なら) 動。ている [動。ていた] のであれば (= (の)なら)	「～なら」人為設定的條件。「～ば」一般歸納的條件
～と、 ～のだと、	名だと 形いと 動。と 動。ていると	名な [名だ] のだと 形い [形かった] のだと 動。 [動。た] のだと 動。ている [動。ていた] のだと	「～と」觀察經驗的條件。
～たら、 ～のだったら、	名だったら 形かったら 動。たら 動。ていたら	名な [名だった] のだったら 形い [形かった] のだったら 動。 [動。た] のだったら 動。ている [動。ていた] のだったら	「～たら」現在觀點的條件。

反條件表現通常使用「～ても」「～たって」「～たところで」「～としても」「～とも」，請參考下表：

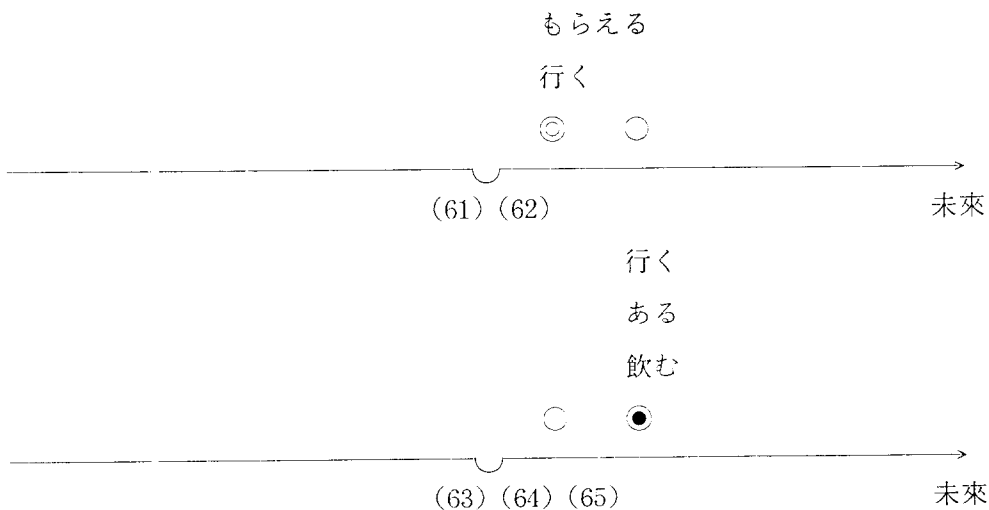
	反條件形	基本義
～ても、	名で (あって) も 形くても 動。ても 動。ていても	唯一條件的否定。不僅能表反條件句，也能表反結果句。
～たって、	名だって 形くたって 動。たって 動。ていたって	口語表現，僅能表反條件句。
～たところで、	動。たところで 動。ていたところで	反條件句或反結果句，兩者都後接負面母述語。
基本形 [タ形] +として も、	名だ [名だった] としても 形い [形かった] としても 動。 [動。た] としても 動。ている [動。ていた] としても	人為設定的反條件句。
～とも、	形くとも 動。(よ) うとも	書面語的反條件句

日語副詞子句的分類與描述

「～なら(ば)」為「～のなら」的簡略形，相當於「～の(だ)」為說話者的情態表現，故基本義為在人為設定（通常根據聽者所提供資訊當題目）的條件下，說話者提出自己的意見，例如判斷、勸告、意志、要求、命令等等。當子句述語為動態動詞基本形時，少數比母句述語先發生。但大多數比母句述語後發生。

- (58) 西田さん(の)家なら、先だよ。
- (59) 彼女が好きなら、紹介してあげるよ。
- (60) 欲しいなら、そのポスター(を)上げるよ。
- (61) お礼が十分もらえるなら、それを引き受けましょう。
- (62) デパートへ行くなら、ビデオカメラを買ってきてください。
- (63) デパートへ行くなら、子供を連れていってください。
- (64) 試験があるなら、早く準備しておいたほうがいい。
- (65) 飲むなら、乗るな。

句子(58)為名詞子句述語，(59)為性詞子句述語，(60)為形容詞子句述語，(61)到(65)為動詞子句述語各後接「～なら」形成子句，要注意的是例句(61)(62)子句先發生，而(63)(64)(65)的子句後發生。請參考下列圖解：



除了上述的「～なら」基本形式之外，其他形式的用法如下：

- (66) 恋人の声が聞こえたいなら、すぐ電話をすればいい。
- (67) 黙っているならば、話してやろう。
- (68) お気付きでないなら、口元に米粒が付いていますよ。
- (69) もし言ってさしつかえないなら、月給いくらぐらいですか。
- (70) 君がそこにいたのなら、なぜ注意しなかったんですか。
- (71) もしあんな男だと分かっていたなら、結婚しなかつただろうに。
- (72) あの政治屋が潔白なら、日の中に飛び込むよ。
- (73) お前が子供なら、叱りはしないよ。

例句(66)子句述語為「～聞こえたい」，例句(67)子句述語為「～黙っている」各後接「～なら」。特別是例句(70)(71)的子句為反事實的條件，可視為「not—子句→not—母句」。句子(72)(73)為修辭學上的條件，為透過否定母句而間接地否定子句即「not—母句→not—子句」。

以下的「～なら」的使用形式則可視為慣用表現。

- (74) こんなおいしい料理はこの店ならではものだ。(注4)
- (75) 父さんさら傘だけならまだしも、かばんまで電車の中に忘れてきた。
- (76) 外の事ならともかく、それだけはできない。
- (77) 他人ならいざしらず、私は最後まで頑張ります。
- (78) 遅れたのも意外なら、知らなかったのも意外だった。
- (79) 降伏するくらいなら、死んだほうがまだ。
- (80) 行けるものなら、京都に行ってみたい。
- (81) 遅刻を繰り返そうものなら、首になってしまう。

注4：例句內的「ならでは」為古言用法，「で」乃表示否定的助詞，其成立及語義均與此處的「なら(ば)」不同，理應不宜混為一談，但本文站在共時立場，而一併處理。

例句(74)到(77)皆是名詞後接「なら」表示題目；例句(78)為「～なら」「～だ」的重覆表現；例句(79)為廣義的選擇表現；例句(80)為能力動詞後接「～ものなら」表示可能性低；例句(81)為動詞+「(よ)う」後接「～ものなら」表示在此條件下，常產生惡果。

「～ば」的名詞述語形為「～であれば」但較書面語，常改「～なら」代換。

「～ば」的基本義為一般歸納的條件，相當於一種因果律或邏輯關係。即在此歸納條件下，子句的前事件一發生，必然導致母句的後事件。一般而言，此歸納條件適用於確定事實。也適用於過去或未來可能發生的事件。即「歸納條件→現在・過去・未來」模式。格言及諺語常使用此形式。

要注意的是使用狀態子句述語的「～ば」，才能後接表意志、命令、請求、願望等說話者的情態表現。邏輯關係為「子句→母句」(すれば、いい)，「not子句→母句」(しなければ、いい)，「not子句→not母句」(しなければ、いけない)。

(82) 充電が十分であれば(＝なら)、使用時間が24時間に達している。

(83) 内容がよければ、一冊買おう。

(84) お金があれば、遊びたい「遊びなさい、遊んだほうがいい、遊ぼう」。

(85) あっちに行けば、安全ですよ。

(86) 地震が起これば、一刻も早く逃げるだろう「×逃げなさい」。

(87) タクシーに乗れば、間に合うよ「×間に合わないよ」。

(88) 急がば、回れ。

(89) 塵も積もれば、山となる。

例句(82)為性詞子句述語；例句(83)為形容詞子句述語；例句(84)為狀態動詞子句述語可接各種情態表現；例句(85)為動態子句述語；句子(86)為動態子句述語可接推測的情態表現，但不能接願望、命令、忠告、意志、勸誘等等的情態表現。例句(87)的邏輯關係為「子句→母句」時正確，但「子句→not母句」則為錯誤。例句(88)(89)為格言。

「～ば」的用法源於因果或邏輯關係，故與此有密切關係的下列形式，經常使用。

- (90) チームが強くなれば、ファンの数も増えるだけだ「道理だ、はずだ、ものだ」
(91) 学生時代日曜が来れば、マージャンをしたものだ。
(92) 白でさえあれば、どんな花でも結構ですよ。
(93) 値段が安くさえなれば、買う人が増える。
(94) 先生に聞きさえすれば、すべてが分かる。
(95) 医者がもっと早くがんを発見してさえいれば、彼は治っただろうに。
(96) 誰でも努力さえすれば、成功する。
(97) お金があればこそ、高い専門書が買える。
(98) この頃は研究会があればともかく、都心にはめったに出掛けない。
(99) 日本語もできれば、ベトナム語も話せる。
(100) よく言えば、質素で、悪く言えば、けちだ。
(101) 辞書は説明が簡潔あればあるほど（＝簡潔なら簡潔なほど）、学生に持てる。
(102) 手伝いの人は多ければ多いほどいい。
(103) 思えば思うほど、残念だ。
(104) 思い切ってたばこを止めばいいのに（＝止んだらいいのに）。
(105) もっと早く彼女にプロポーズすれば、よかったのに。
(105)' 昔の人がコンピューターを見れば、驚いただろうに。

例句(90)的「～なら」後接具有邏輯關係的「だけだ」「道理だ」「はずだ」「ものだ」。例句(91)表示過去的習慣。例句(92)到(96)表示充分的條件，各為「名でさえあれば」「 形 くさえなれば」「 動 さえすれば」「 動 てさえいれば」「努力をすれば→努力さえすれば」。例句(97)表示限定條件。例句(98)表示明確的題目。例句(99)表示並列。例句(100)表示對比。例句(101)到(103)表示程度的遞增，形式上「 程度 であればあるほど」「 程度 なら 程度 なほど」「 形 ければ 形 いほど」「 動 (れ)ば 動 ほど」。例句(104)表示對未來行為的忠告，用「 動 (れ)ばいい(のに)」可和「 動 たら(いい)(のに)」互換。例句(105)表示對過去已發生的後悔；(105)'表示對過去可能發生行為(反事實)的

推測，母句述語皆用過去式。

「～と」的基本義為透過個人直接觀察經驗的條件。將客觀世界原封不動的加以描述。通常此經驗的前提為確知的事件而預測過去或未來可能發生的事件，即「經驗條件→現在・過去・未來」模式。故母句述語常使用預測的「～なる」「～恐れがある」「ことがある」「～ことができる」「～ことが分かる」。但母句述語則不能使用說話者能掌控的意志動詞或是說話者的情態表現（預測的「～だろう」除外），這些都違反了基本義。

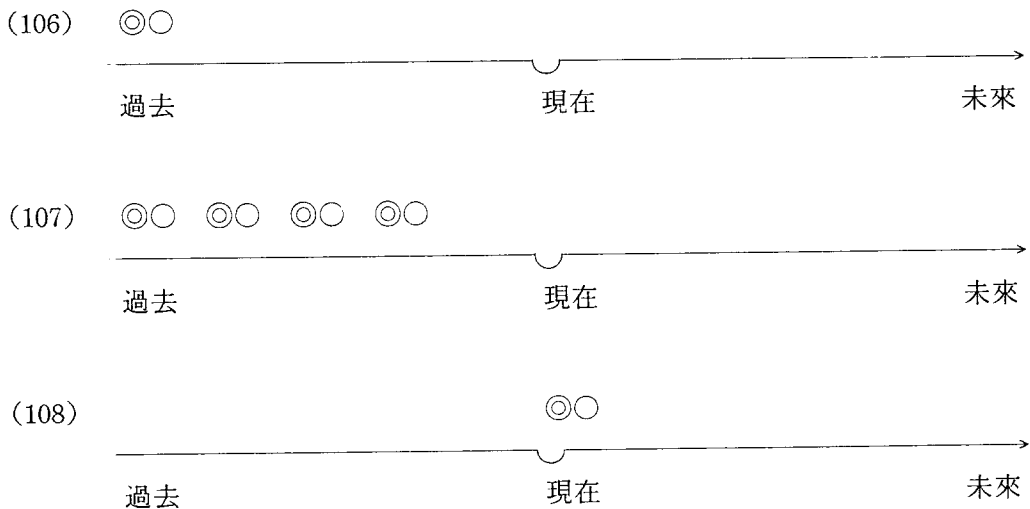
(106) 先生は仏頂面でやってくると、抜き打ち試験を行った。

(107) 先生は仏頂面でやってくると、抜き打ち試験を行ったものだ。

(108) 先生は仏頂面でやってくると、抜き打ち試験を行う。

(109) 先生は仏頂面でやってくると、抜き打ち試験を行うだろう。

例句(106)表示說話者第一次觀察到的事實，常帶著意外、發現。例句(107)表示說話者過去多次觀察到的事實而變成習慣。例句(108)表示說話者根據過去經驗推理出來的條件。例句(109)同樣地根據過去經驗。預測未來事件的可能發生。如將上述例句圖解則如下：



(109)



過去

現在

未來

事實上自然科學實驗的發現定型後，視此發現為常態的事件，而適用於眞理法則。

- (110) 温度が摂氏百度に達していると、水が水蒸気になった「なったものだ・なる・なるだろう」。
- (111) 夜更かしすると、ストレスが溜まりやすい。
- (112) 物価がずっと上がると、インフレが起こる恐れがある。
- (113) この契約を解約すると、違約金を取られる場合がある。
- (114) 会員権を持っていると、クラブの施設を自由に使うことができる。
- (115) 実験によって同じ極を付けると、磁針の極が反対になることが分かる。
- (116) 充電が始まると、赤いランプが付く。
- (117) マットに立つと、ドアは自動的に開く。
- (118) ご都合が〔×よいと〕よければ（＝よかったら）、今からお伺いします。

例句（110）與上述的例句（106）到（109）同様。例句（111）到（115）表示預測的可能發生。例句（116）（117）表示常態。例句（118）的母句述語為說話者能掌握的意志動詞時，不使用「～と」。

由上述「～と」表示個人觀察到的事實而衍生意外發現。此觀察期間局限在短暫的時間，故「～と」常後接「すぐに」「急に」。

- (119) 国境の長いトンネルを抜けると、雪国であった。
- (120) 今窓を開けると、外は一面の銀世界だった。
- (121) ベルがなると、子供は一斉に教室から飛び出した。
- (122) 手紙を出すと、すぐ返事が来た。
- (123) ウィスキーを一口飲むと、急に酔いが出た。

例句(119)(120)皆是在短暫時間觀測到的事實經驗；例句(121)到(123)各後接「一齊に」「すぐ」「急に」等副詞，更具體地將此短暫時間表現出來。

「～と」也經常透過雙重否定形式來加重語意的表現。

(124) 論文を十本も出さないと、教授に昇進しないよ。

(125) 質の悪い学生を落とさないと、全体のレベルが高くない。

又基本形或タ形後接「～とすれば」「～とすると」「～としたら」純粹表示人為的設定條件。

(126) もし彼の理論が間違っている(＝間違っていた)とすれば、大変なことになる。

(127) 歩いていくとすると、どのぐらいかかりますか。

(128) 結婚するとしたら、どんな女性がいいですか。

例句(126)到(128)表示純粹的假定，基本上任何時式都可後接此形式。科技文獻上也常用。請看下列句子：

(129) 物体が一定でない速度で動く(＝動いた)とすれば(＝とすると・としたら)、距離Sは時間tに比例しない。

「～たら」基本義為說話者從現在觀點以過去已發生或人為設定(反事實)的行為當做前提條件，從而選擇或推測某一過去、現在、未來可能發生的行為。故母句述語常含說話者各種情態表現。惟過去已發生行為時，主語與母句主語為不同行為者，否則說話者無選擇或推測時地而不能使用。

(130) もし中国が侵入してきたら、台湾の全国民は戦うに違いない。

(131) 官費試験に合格したら、両親は喜ぶだろう。

(132) これが両親に分かったら、どうしよう。

(133) A：私は来年大学を卒業します。

B：大学を卒業したら、何をするんですか。

(134) そんなことを言ったら、みんなに嫌われるよ。

(135) タクシーで（行ったら）、十分も掛からない。

(136) 向こうに着いたら、手紙を下さいな。

(137) 困ったことがあったら、知られてください。

(138) ごろごろしていないで宿題をしたらどうですか。

(139) 光夫、髪が伸びたわね。床屋さんに行ったら。

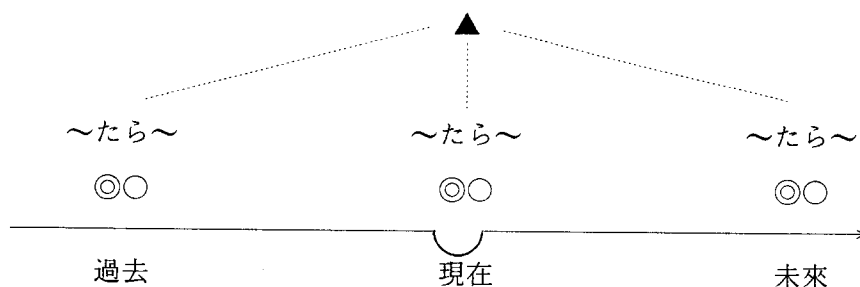
(140) 私が鳥だったら、一日中空を飛び回りたい。

(141) もっとお金があったらなあ。

(142) その言葉を信じていたら（＝信じていれば）、助かっていたはずだ。

(143) 昨日天気になったら（＝なれば）、運動大会が行われたのですが。

例句（130）到（143）皆表示子句先發生，母句後發生，基本上皆站在現在之觀點，可圖示如下：



例句（130）到（143）表示設定條件為未來。例句（133）為以對方內容為設定條件而提出質問。例句（134）含有說話者再確認之意。例句（135）表示一般條件的工具。例句（136）（137）表示設定動作實現後，說話者提出請求，常與「～たとき」「～てから」「～た後」互換。例句（138）與（139）表示提議。例句（140）與（141）表示設定條件為反事實的現在。例句（142）與（143）表示設定條件為反事實的過去。

日語副詞子句的分類與描述

除了上述同法衍生出來的期待、預料及反預料而感到意外，進一步發展成發現的語義。

- (144) 画家になりたいと父に告げたら、案の内猛反対された。
- (145) 家に帰ったら、やっぱりテレビがつけっぱなしになっていた。
- (146) 誰かと思ったら、意外にもうわさをしていた当人であった。
- (147) 娘に用を頼んだら、仏帳面をされた。
- (148) テレビを付けたら、台中大火事のニュースが報道されていた。
- (149) 車で寝ていたら、財布を盗まれてしまった。
- (150) 彼は家に〔×帰ったら〕帰ると、すぐ論文を書き始めた。

例句 (144) 與 (145) 表示在預料中，常含有「案の内」、「やはり」、「預想通り」等副詞。例句 (144) 到 (149) 皆可用注重結果的「～ところ」來互換。而例句 (150) 的子句主語與母句主語為同一行為者故不能使用。

- (151) 会員を募集したら (= 募集したところ)、預想通りに百人も集まった。
- (152) 会員を募集したら (= 募集したところ)、意外なことに百人も集まった。

以下則為「～たら」的慣用法。

- (153) 出掛けたら出掛けたで、何時になっても帰らない。
- (154) 恵子は話し出したら、最後いつまでたっても止まらない。
- (154) 第三次世界大戦が起きたら最後、地球は滅亡する。
- (155) 足を踏みはずしたが最後、谷底へ真っ逆様に転落するに違いない。

整理上述條件子句用法可整理如下：

	子句述語	母句述語
～なら (ば),	———	情態介入
～ば,	狀態性	情態介入
～と,	———	情態介入 (意志動詞時非說話者)
～たら,	———	情態介入 (偏子句與母句的主語行為者非同一人)

條件子句的用法除了上述以外，下列的形式也可以當做條件子句。

- (168) すし屋に行ったら、会長が喜ぶ。
- (169) すし屋に行くだけで、会長が喜ぶ。
- (170) すし屋に行くほうが、会長が喜ぶ。
- (171) すし屋に行くのが、会長が一番喜ぶ。
- (172) すし屋に行っては、副会長が喜ばない。
- (173) すし屋に行くのでは、副会長が喜ばない。
- (174) すし屋に行くようでは、副会長が喜ばない。

例句(168)為「～たら」條件用法已敘述過。例句(169)的「～だけで」可視為唯一條件。例句(170)「～ほうが」可視為二選一的條件。例句(171)「～のが」可視為多選一的條件。例句(172)到(174)「～ては」、「～のでは」、「～ようでは」可視為在此條件下，常後接負面的母句事件。

2.6 反條件句

「～ても」反條件子句的基本義為否定原本唯一的條件，表示其他條件下也可以產生相同結論。當然也可以表示原本唯一條件下，卻產生相反結論，進一步發展成反結果表現。

- (175) 努力すれば、成功するだろう。
- (175)′ もっと努力していれば、成功するだろう。
- (176) 努力しなくても、成功するだろう。
- (176)′ そんなに努力しなくても、成功しただろう。
- (177) 努力しても、成功しないだろう。
- (178) いくら努力しても、成功しないだろう。
- (179) 努力しても、成功しなかった。

日語副詞子句的分類與描述

例句 (175) 與 (175)' 為「～ば」的條件表現。例句 (176) 與 (176)' 的「努力しなくとも」否定原本唯一條件的「努力すれば」, 也能够產生相同結論。例句 (177) 與 (178) 各表示在相同條件下或重覆相同條件下造成相反結論「成功しないだろう」; 例句 (179) 表示在相同條件下造成與過去事實的反結果句「成功しなかった」。

「～たって」反條件表現為口語形式, 但不能使用在已成為過去事實的反結果句。

(180) 先生に質問したって、教えてくれない「×教えてくれなかった」。

(181) 誰がやったって、できるだろう。

例句 (180) 與 (181) 「～たって」皆表示反條件。要注意的是例句 (181) 含有「誰」的不定詞。

「～たところで」也表反條件, 但後接負面母句。亦可表示揭發事件的反結果。

(182) 今頃出掛けたところで、彼女には会えないよ。

(183) 葡萄酒をそんなに沢山買ったところで、全部飲むわけではない。

例句 (182) 與 (183) 各表示反條件及反結果句。兩者都後接「会えないよ」「全部飲むわけではない」等負面母句。

除了上述的「～ても」「～たって」「～たところで」之外, 亦可使用基本形或タ形後接「～としても」表示人為設定的反條件子句。

(184) 君は勉強が好きでないとしても、義務教育は終えないといけない。

(185) そのような事例はあるとしても、ごくわずかだ。

(186) 彼が成功したとしても、不思議はない。

(187) 地下鉄がストに入ったとしても、私は出勤しなければならない。

例句 (184) 與 (185) 為基本形, 例句 (186) (187) 為タ形各後接「～としても」表示“即使～也”的反條件句。

- (188) 進歩は遅くとも、着実だ。
- (189) 誰が何と言おうとも、私は決心を変えない。
- (190) 何度尋ねようとも、答えは同じだ。
- (191) 誰が来ようとも、門は閉めておきなさい。
- (192) 行こうと行くまいと、俺の勝手だ。
- (193) 晴れようと晴れまいと、野球の練習は休まない。

例句(188)為形容詞子句述語；(189)到(191)為動詞子句述語；(192)(193)為同一動詞肯定與否定動詞子句述語(此時「とも」的「も」可省略)後接「～とも」表示反條件句。

2.7 結果句

以條件句的因果或邏輯關係為前提，在現實世界上為真而成立時叫“結果句”，為假而不成立時叫“反結果句”。表示結果子句常用的有「～から」、「～のだから」、「～ものだから」、「～ので」、「～もので」、「～ために」、「～だけに」、「～しては」、「～あまり」、「～せいで」、「～おかげで」、「～ばかりに」、「～のか」、「～せいか」等々，請參考下列例句：

- (194) 彼女の訪問はいつも突然だから、こっちも慌てる。
- (195) 太陽があの山に沈んだから、あっちが西の方角に当たる。

例句(194)表因果關係下的純粹結果句；例句(195)表在此原因理由下，說話者推理的結果句。「～から」基本上可表示此兩種結果子句。「～から」的各種述語的形式如下：

- (196) 勝負は時の運だから、努力が実を結ぶとは限らないさ。
- (197) 明日のチームはショートだから、そこを狙え。
- (198) 夕焼けで空が真っ赤だから、明日はおそらく晴れるだろう。
- (199) あいつの話はいつもおおげさだから、話半分に聞いておくほうがいいよ。
- (200) ステレオの音がうるさいから、もう少しボリュームを下げてよ。

日語副詞子句的分類與描述

- (201) この店は売上げ成績が悪いから、店長の地位が危ないという噂だ。
(202) あの店は随分繁盛しているから、金庫にはお金がうなっているに違いない。
(203) ぼくの本を安く売るから、誰か買わないか。

例句(196)與(197)為名詞述語，(198)與(199)為性詞述語，(200)與(201)為形容當述語，(202)與(203)為動詞當述語後接「～から」表示在此原因理由下的純粹結果句。在推理結果句的母句述語常含有說話者情態的表現，例如「～とは限らない」「～に違いない」「～ほうがいい」及命令形，疑問句形式等々。

以上的子句皆不含說話者情態表現，下列例句則有：

- (204) 私も大学を卒業したんだから、今でも親に甘えてばかりはいられません。
(205) あんな事をするには理由があったのだろうから、場合によっては許してやってもいい。
(206) 地域の代表を選ぶわけですから、投票は慎重に行わなければなりません。
(207) あまり体が丈夫じゃないものですから、気を付けた方がいいよ。
(208) あの男は何か胸に一物ありそうだから、注意したほうがいいよ。

例句(204)「～のだから」與例句(205)「～のだから」表示說話者與聽者共同認知的原因理由。句子(206)「～わけですから」表示一般常理的原因理由。句子(207)「～ものだから」表示說話者視為理所當然的原因理由。例句(208)「～そうだから」表示具有此種可能性的原因理由。

有時表現上亦可先述結果，其次再探討原因理由，請看下面例句。

- (209) 外部者は会場に入れない。入口で警備員が頑張っているから。
(209)' 外部者は会場に入れないというのは入口で警備員が頑張っているからだ。
(209)" 外部者は会場に入れないのは入口で警備員が頑張っていることが原因だ。
〔からだ・かららしい・からに違いない・からというだけではない。〕

句子(209)到(209)〃皆表示先結果後原因理由的句子。句子(209)為兩個單句形式。句子(209)′使用「～というのは～からだ」的結果單句。句子(209)〃使用「～のは～ことが原因だ」「～のは～からだ」等複句表現。此形式的複句表現常含說話者情態的推理。

以下的幾種形式可視為「～から」的應用形式。

(210) 君のためを思うからこそ、忠告しているんだよ。

(211) 先生が保証しているからには(=以上・限り)、もう大丈夫だ。

(211)′ そう言った手前、引き下がれなくなった。

例句(210)表示唯一的原因理由；例句(211)表示在此原因理由的前提下，說話者做出當然的推理結果，而(211)′表示此負面的推理結果，此前提換成動作，則使用「～した上で」。

(211)〃先生や両親とよく相談した上で、自分の進路を決めた。

有時用「～からと」的省略表現，請參考下列例句：

(212) 午後に大事な訪問客があるからと、母は朝から準備に忙しそうです。

(213) 私は、誕生日のお祝いをするからと、友達の家に参加している。

「～ので」與「～から」最大的差異是在於前者通常使用在單純的原因理由與結果的直接結合，說話者情態的介入較「～から」弱(注5)。

(214) 今度の試験はぼくの得意の分野なので、少々自信がある。

(215) 昨日は一日暇だったので、午後からは妹に童話を読んでやった。

(216) 父の仕事に必要なので、家では新聞を四紙取っている。

(217) 客の入りさまばらだったので、私は楽にいい席を取ることができた。

(218) この高原は標高が高いので、夏でも涼しい。

注5：可參考拙著「『ので』の研究」。

日語副詞子句的分類與描述

(219) とても面白そうだったので、彼らの仲間に入ることにした。

(220) タイムの測定に誤りがあってはいけないので、係員は真剣な表情だった。

(221) 急いで食べたので、ご飯が喉につかえてしまった。

例句 (214) 與 (215) 為名詞述語；(216) 與 (217) 為性詞述語；(218) 與 (219) 為形容詞述語；(220) 與 (221) 為動詞述語各後接「～ので」、表示原因理由的純粹結果句。

觀察下列子句的異同：

(222) ちょっと用事があるから、失礼します。

(223) ちょっと用事があるので、失礼します。

(224) ちょっと用事があるもので、失礼します。

例句 (222) 「～から」解釋成推理結果句時，則稍嫌不客氣。例句 (223) 「～ので」為純粹結果句，適合在正式場合使用顯得最客氣。例句 (224) 「～もので」表示說話者對於突發事件的原因理由，加以辯解的結果句。

「～ため(に)」表示個別事件原因理由的結果句，通常說話者情態表現不介入，書面語常使用。

(225) 地下鉄が停電したため、何百人もの乗客が一時間も暗やみで往生させられた。

「～だけに」在此限定原因理由下，說話者推理出一當然的結果。此結果超出預料時則使用「～にしては」。

(226) 至さんは日本で育っているだけに、日本語はお手のものだ。

(226)' 孫先生は七年も日本にいるにしては、日本語が下手だ。

「～あまり」表示過度原因理由的結果句，可視為與「あまり～ので」同義。

(227) 嬉しさのあまり、泣き出した。

(228) 疲れ過ぎたあまり、宿題ができなかった。

(228)' あまり疲れていたなので、宿題ができなかった。

例句 (227) 為名詞述語後接「～あまり」；句子 (228) 為動詞述語後接「～あまり」；
例句 (228)' 則將「あまり」當做普通副詞再後接「～ので」。

「～せいで」表示負面原因理由的結果句；「～おかげで」表示正面原因理由的結果句；
但自嘲或反諷時比「～せいで」更強調表示負面的原因結果。「～ばかりに」表示限定此事
為負面原因理由的結果句。

(229) 三年間論文を一点も出さなかったせいで、首になった。

(230) 栄養を十分取ったおかげで、元気一杯だ。

(230)' 朝寝坊したおかげで (=せいで)、バスに乗り遅れた。

(231) 学内のスキャンダルを告発したばかりに、首になった。

(231)' その仕事をしたいばかりに、賄賂を使った。

「～のか」表示不確定原因理由的結果句 (注6)，而「～せいか」也同樣地表示不確定
原因理由的結果句，請參考下列句子：

(232) 姉は冬になって、脂肪がついだのか、ちょっと太り気味だ。

(233) 試合に勝って、興奮していたせいか、少しも寒さを感じなかった。

又「～て」原義為在時間上子句述語事件先發生的狀態或動作，再轉義為表示原因理由
的結果句，此「～て」的母句述語通常說話者情態不介入。

(234) 私は風を引いて、学校を休んだ「×休みたい、休もう」。

(235) 子供は働き過ぎて、困る。

注6：事實上「～のか」亦可視為「～のだろうか」的衍生形式。

2.8 反結果句

以條件句的因果律或邏輯關係為前提，在現實世界上為假而不成立時為「反結果句」。表示反結果句常用的有「～のに」「～くせに」「～が」「～にもかかわらず」「～ながら」等々。

「～のに」基本義為說話者原本期待條件句的因果律或邏輯關係與現實世界的結果一致但卻落空，即違反了說話者心理的期待性，衍生出不滿、責備或惋惜、贊揚之意。

(236) 雨が降っていたのに、子供たちは野球をやった。

(237) 急いだのに、バスに間に合わなかった。

(238) 熱があるのに、どうして出勤したの。

(239) 試験に落ちると思ったのに、合格した。

值得一提的下列例句的「～のに（は）」為表示必要、方法、用途等等充當母句述語的固語。

(240) 車の運転には免許が必要だ。

→車を運転するには免許が必要だ。

(241) 私の家は駅へ出るのに便利だ。

(242) このビルが完成するのに二年掛かった。

(243) 辞書は言葉を調べるのに使う。

「～くせに」與「～のに」的差異，在於此反結果句的主語一定是有生命的行為者；而且子句及母句述語的行為者為同一人。

(244) 男のくせに、鏡ばかりのぞくな。

(245) 彼女は大学を出たくせに、英語であいさつもできない。

(246) 彼が働いている「×くせに」のに、どうして遊びに出掛けられようか。

(247) おじは車を三台も持っているのに「×くせに」、彼は借りない。

「～が」「～けれども」表示一般性的反結果句。也可以表示題目的提示，補充說明，對比等等，而「～のに」無此用法。又「～が」亦可以表示對比。

(248) 家中捜したが（＝けれども）、見付からなかった。

(249) 先月パリへ旅行したが（＝けれども）〔×のに〕、なかなか愉快だった。

(250) 自慢じゃないが（＝けれども）〔×のに〕、ぼくは水泳では学校で一番だ。

(251) 来週お目に掛かりたいのですが（＝けど）〔×のに〕。

(252) 春子は山に行くが、夏子は海に行く。

例句(248)為一般性的反結果句。例句(249)(250)儘能使用「～が」「～けれども」而不用「～のに」。

又下列例句也屬於反結果句的表現。

(253) 正夫は足首をくじいたにもかかわらず、ジョギングを続けた。

(254) 悪いとは知りながら、彼の自転車を黙って借りた。

(255) 母は心配しつつも、海外旅行を許してくれた。

(256) 勉強をした割には、成績はよくなかった。

(256)' このレストランは値段が高い割に、おいしくない。

(257) 大学院は出たものの（出たことは出たが）、勤め先がない。

(258) そのまま黙っていればいいものを、結局白状してしまった。

例句(253)到(255)的「～にもかかわらず」「～ながら」「～つつ(も)」皆為書面語。句子(256)與(256)'「～割に」表示說話者預料的程度與現實的程度不符。例句(257)「～ものの」表示雖肯定此種原因理由，但仍出現反結果。例句(258)「～ものを」表示說話者的不滿、惋惜、懊悔等情態。

2.9 目的句

預期某種結果會實現的目的句可視為廣義的結果句。此種目的的實現，行為者的意志能掌控時多用「名+ため（に）」「基本形+ため（に）」；行為者的意志不能掌控，只能純期待時多用「～ように」。而特別表示「行く」「来る」「出掛ける」「帰る」等移動目的時使用「動₂+に」。

(259) 我々は独立するために、戦う。

(260) 子供がよく育つように、毎日牛乳とビタミンを取らせる。

(261) 兄は朝から早く魚を釣りに出掛けた。

2.10 場所句

值得一提的是原本表示具體場所的也可以轉化成觀念的時間句、反結果句、反條件句。

(262) 友人の家へ行ったところ（が）、留守だった。

(263) 日本料理屋で刺身を注文したところ（が）、あいにく品切れだった。

(264) 今度の試験はだめだと思っていたところ（が）、案の内不合格だった。

(264)' かなり高値だと思っていたところ（が）、案外安く手に入った。

(265) こんなに本を買ったところで、読めるわけがない。

(266) 君のようにきちんと仕事をしたところで、給料が増えるわけではない。

(267) そんなに腹が立ったところで、どうしようもない。

(268) たとえ毎日一生懸命働いたところで、家一軒買うこともできないのだ。

(269) これ以上この問題を話し合ったところで、無駄だ。

(270) いくら頑張っても、試験にパスしませんよ。

(271) みんな揃ったところで、写真を撮りましょう。

(272) 課長の説明が済んだところで、課員は色々な質問をした。

(273) お手伝いさんは食事をしたところで、部屋を綺麗に掃除した。

- (274) お風呂に入っていたところに (=へ)、電話が掛かってきた。
(275) ちょうどおやつを食べていたところに (=へ) 部長が来た。
(276) 出掛けようとしているところに (=へ)、雨が降り出した。
(277) 彼は失業しているところに (=へ)、お金を盗まれた。
(278) 隣人はお金に困っているところに (=へ)、妻に家出された。
(279) うちの息子は成績が伸び悩んでいるところに (=へ)、ひどい風邪を引いた。
(280) 生徒は窓からごみを捨てたところを写真に撮られた。
(281) もう少しで勝つところを、滑って転んで負けた。
(282) 泥棒は逃げようとするところをつかまった。
(283) 彼が来るところを、逆にこちらから出掛けていった。
(284) あの俳優が主演を演じるところを、スキャンダルで外の人に代わった。
(285) 薬は食前に飲むところを、間違えて食後に飲んでしまった。
(286) ビルは今年中完成するところが、不景気でまだ完成していない。
(286) 最近では儲かるどころか、損ばかりしている。
(287) 彼女は私の贈り物に礼を言うどころか、逆にそれを返してきた。
(288) あの先生は論文が書けるどころか、まだ読むこともできません。

例句 (262) 與 (263) 「～タ+ところ (が)」表示與預料相反；例句 (264) 與 (264)' 「～テイタ+ところ (が)」表示與預料相反或相同。此種「～ところ (が)」可和「～たら」互換。

例句 (265) 與 (267) 「～タ+ところで」表示反結果句，相當於“雖然～但是”。例句 (268) 與 (269) 「～タ+ところで」表示反條件句，相當於“即使～也”，可和例句 (270) 「～ても」互換。「～タ+ところで」表示反結果句 (佔少數) 或反條件句 (佔多數)、母句皆為負面結果。

例句 (271) 到 (273) 的「～ところで」可視為「～後で」同意。

例句 (274) 到 (276) 的「～ところに (=へ)」表示某事件正在進行中，卻突然產生

一意外事件，相當於“正在～的時候”。此意外事件發展成負面事件時表示“添加”，相當於“正在～的時候，又～”，如（277）到（279）三句。

句子（280）到（282）「～ところを」表示某事件動作（正要）發生的一瞬間，同時產生另外一動作。而句子（283）到（285）「～ところを」相當於「～するはずだが」表示“本應～卻～”，此子句述語動詞常為及物動詞。

例句（286）到（288）「～どころか」表示兩極端事件並列的描述。

2.11 樣態句

樣態句的子句表示此子句述語動作或狀態（程度）伴隨著母句述語動作或狀態而發生。

請看列句子：

- (289) お茶を飲みながら、おしゃべりしましょう。
- (290) 春子は鏡を見て、厚化粧した。
- (291) 子供は靴をはいたまま、客間に入った。
- (291)' あの障子はあちこち破れたままだ。
- (292) 冬子はうつむいたきり、答えようとしなかった。
- (292)' 夏子は病気で寝たきりだ。
- (293) 教授は学生を前に、税金について講義している。
- (294) 来年の二月をめどに、私達は新しい情報誌の編集に乗り出した。
- (295) 不良少年はこれをきっかけに、立ち直った。
- (296) 私が言った通り、彼は冷血漢です。
- (296)' 私が想像した通り、課長は病気でした。
- (296)" 私が思った通り、あいつはスパイだ。
- (297) 私がするように、部屋を片付けなさい。
- (298) 口も利けないぐらい、怒った。
- (298)' 恥ずかしくて、穴があったら、入りたいくらいだった。

- (299) あの兄弟は驚くほど、似ている。
- (299)′ 朝夕のバスはドアが閉まらないほど、混雑だ。
- (299)″ あの子の絵は優れていて、大人も舌を巻くほどだ。
- (300) 日本ほど、良い水に恵まれた国はない。
- (300)′ あなたが考えているほど、今度の期末試験は難しくない。
- (300)″ その暴動は機動隊が出動するほどのものではなかった。
- (301) キャンデーは好きなだけ、取っていいよ。
- (301)′ 食べたい「食べられる」だけ、食べてください。
- (301)″ 両親は稼いだけ、使う。
- (302) 雨が一時間降っただけだ (=降るだけだった)。
- (302)′ 私には家を買うだけのお金はない。
- (303) このダムが完成するまで、七年の歳月が流れた。
- (303)′ 体をこわしてまで、働く必要はない。
- (304) 半分できた以上、やりぬくまでだ。
- (304)′ 念のために君に聞いてみたまでだ。
- (305) 生活水準が高くなるだけ、出費もかさむ。
- (306) 車の数が増えるにつれて、交通事故も多くなる。
- (307) 年を取るに従って、記憶は衰えるものだよ。
- (308) 甲子園球場は思っていたより、ずっと広かった。
- (308)′ 本で読むより、実際に見た方がよく分かる。

例句 (289) 「～ながら」表示此動作與母句述語動作同時進行。例句 (290) 「～て」表示此條件隨著母句述語動作。

例句 (291) 「～たまま」表示此不自然動作伴隨著母句述語動作發生；例句 (291)′ 「～たままだ」表示此不自然動作或狀態一直持續著。

例句 (292) 「～たきり」表示此動作發生後，就一直持續下去不做任何改變。例句

(292)' 「～たきりだ」為衍生形式將「～まり」當名詞型述語用。

例句(293)到(295)的「～を前に」「～をめどに」「～をきっかけに」可視為“動詞+空副詞”即(P)(m)的特殊形式，表示此附帶狀況伴隨著母句述語動作。

例句(296)與(296)' 「～通り」表示按照原先“說的、想像的、預料的”，和實際的現實一致。例句(297)「～ように」表示按照“相同”手段方法，去做某事。

例句(298)「～くらい」表示透過實際例子去描述母句述語的動作或狀態。例句(298)' 「～くらいだ」將「～くらい」當名詞型述語用。

例句(299)「～ほど」表示透過偏述語的程度量，來描述母句述語的狀態。例句(299)' 「～ほどだ」將「～ほど」當名詞型述語用。例句(300)～(300)'皆為否定，表示子句述語設定的程度量，母句述語的狀態尚未達到。而衍生此設定的程度量為最極端，例如例句(300)。

例句(301)與(301)'表示非子句述語所提示的特定量，做為母句述語的動作依據。例句(302)「～だけだ」將「～だけ」當名詞型述語用；例句(302)' 「～だけの」可視為「～だけだ」再後接修飾名詞時的活用形式。句子(303)與(303)' 「～まで」表示極限量。例句(304) (304)' 「～までだ」與「～だけだ」同義。惟「～までだ」前接的動詞為意志性動詞。

例句(305)到(307)「～だけ」、「～につれて」、「～に従って」表示子句述語程度量與母句述語程度量成正比。

句子(308) (308)' 「～より」表示與子句述語的比較。其用法與「窓より窓の方がいい類似。

2.12 並列句

並列句為子句與母句形成對等關係的表現。反並列句特別指子句與母句形成對立關係的表現。

並列句通常可分為“單純並列句”、“列舉並列句”、“添加並列句”三種。單純並列句相當於「AとB」的「と」助詞用法；添加並列句相當於「AにB」的「に」助詞用法，

或「Aばかりでなく、Bも」的形式。

- (309) 春子は学校に行き、会議に出た。
(309)' 春子は、事故に会い、会社に遅れた。
(309)" 春子は渋滞にぶつかり、通行人と喧嘩した。
(310) 春子は(急に)学校に行き、夏子は会議に出た。
(310)' 春子は事故に会い、夏子は会社に遅れた。
(310)" 春子は渋滞にぶつかり、夏子は通行人と喧嘩した。

例句(309)子句與母句述語皆為意志動詞；例句(309)'子句及母句述語皆為無意志動詞。例句(309)"子句述語為無意志動詞而母句述語為意志動詞。例句(309)到(309)"基本義為同一行為者進行兩個動作的單純並列($A \rightarrow P_1$ と P_2)。例句(310)到(310)"基本義為不同行為者進行各自動作的單純並列($(A \rightarrow P_1)$ と $(B \rightarrow P_2)$)。無論是同一行為者或不同行為者的動作單純並列為書面語。但在語用上有時衍生出動作先後順序的意義。

上述的「 動_2 」的單純並列句。有時可以用「 動_2 て」替代。但「 動_2 て」基本義為先後句，用於同一行為者進行兩個皆為意志動作或兩個皆為無意志動作。

- (311) 春子は学校に行って、会議に出た。
(311)' 春子は、事故に会って、会社に遅れた。

在不同行為者非獨立地進行各自的意志動作時，則衍生為單純並列句。

- (312) 春子は学校に行って、夏子は会議に出た。

故「 動_2 て」不合乎以上的限制條件，則不能用。請參考下列句子：

- (313) 隣人はピンポンもテニスもやる。
→隣人はピンポンもやり「×やって」、テニスもやる。
(313)' ルームメイトは日本語もベトナム語も話せる。

日語副詞子句的分類與描述

→ルームメートは日本語も話せ〔×話せて〕、ベトナム語も話せる。

例句 (313) 與 (313)' 除非是表示 “打了乒乓球後再打網球” “會說日語後再會說越南話” 否則不使用。

要注意的是「動て」基本義為先後句，而衍生用法除了上述的單純並列外，還有表示原因、手段、附帶狀況、同時進行等用法。

(314) 子供はけがをして、治療を受けた。

(315) 林さんはビデオを使って、タイ語を勉強している。

(316) 両親は子供を連れて、歩いている。

(317) 小林さんは手鏡を見て、化粧をした。

(318) ミジオを聞いて (=聞いてから・聞くことで・聞きながら)、日本語を勉強中だ。

例句 (314) 表示原因；例句 (315) 表示手段；例句 (316) 表示附帶狀況；例句 (317) 表示同時進行；例句 (318) 則表示多義語。

上述的並列句用法皆為肯定形式，而否定形式則動詞「～ないで」或「～なくて」。要注意的是「～なくて」除了動詞以外，名詞、性詞型或形容詞也可以使用。

「～ないで」基本義表示預料事件未發生而替代的其他事件卻發生或表示出乎預料的動作附帶狀況。有時與其他形式互換。

(319) 春子が学校に行かないで (=行かず)、会議に出た。

(319)' 春子は資料を準備しないで (=準備せずに)、会議に出た。

(320) 春子は学校に行かないで (=行かずに・行かなくて)、夏子は学校に行った。

(320)' 子供は勉強しないで (=勉強しなくて)、困る。

例句 (319) (319)' 為一行為者「～ないで」的表現。例句 (320) (320)' 為不同行為者「～ないで」的表現可和「～なくて」互換；此時 (320) 表示並列，(320)' 表示衍生的原因理由。

上述的「～なくて」為動詞述語，其他形式的述語如下：

(321) このCDは高くなくて、質がいい。

(321)' この生徒は真面目ではなくて、不真面目です。

(321)" 東後さんは医者ではなくて、英語学者だ。

列舉並列句最常見的 forms 為「～たり」「～とか」「～外」「～など」等等。請參考下列例句：

(322) 日曜日は散歩したり、デパートに行ったりする。

(322)' 海は空気の対流によって、冷たかったり、暖かかったりする。

(323) 気分転換なら公園に行くとか、音楽を聞くとか、いくらでも方法はある。

(323)' ああだとか、こうだとか文句ばかり言っている。

(324) 彼は論文を沢山出した外、参考書を何冊も書いた。

(325) 薬の常用で腎機能が低下するなど、体が弱っている。

例句 (322) (322)' 為動詞或形容詞後接「～たり」的用法，要注意的是母句述語也要改成「～たり」並後接「する」動詞。例句 (323) (323)' 為動詞或名詞述語後接「～とか」的用法。例句 (324) 的「～外」及例句 (325) 的「～など」較書面語。

添加並列句的常用形式為「～し」或「～だけ (=ばかり) でなく」「～ば」等々。

(326) 助手はハンサムだし、頭もいい。

(326)' 雨は降るし、パンクはするし、さんざんなドライブだった。

(327) これは技術的に難しいだけでなく、倫理的にも問題がある。

(328) あの教授はゴルフもやれば、テニスもやる。

3. 結論

副詞句多種類煩多，學習者常不易掌握。本文以個人研究心得，概括性地加以描述，其

中細節方面仍值得檢討，但大致上將副詞子句條理化爲①引用句②期待句③意圖句④時間句⑤場所句⑥條件句⑦反條件句⑧結果句⑨反結果句⑩目的句⑪樣態句⑫並列句等 12 類，不失研究的正確方向。

〔參考文獻〕

- 城生佰太郎・松崎寛 1995 『日本語「らしさ」の言語学』 講談社
- 小泉保 1993 『日本語教師のための言語学』 大修館書店
- 益岡隆志・田窪行則 1992 『基礎日本語文法——改訂版』 くろしお出版
- 仁田義雄編 1995 『複文の研究（上・下）』 くろしお出版
- 奥津敬一郎 1986 『いわゆる日本語助詞の研究』 凡人社
- 湯廷池 1993 「外国人のための日本語文法——考え方と教え方」
『日語教學研究國際研究會論文集』 東吳大學
- 寺村秀夫 1982・1984・1991『日本語のシンタクスと意味（第Ⅰ卷・第Ⅱ卷・第Ⅲ卷）』
くろしお出版
- 趙順文 1989『「ので」の研究』 建強出版社
- 1994 「必須成分の階層性」『台湾日本語教育論文集 2』 中華民國日語
教育學會
- 1995 「名詞型接尾語の一考察」『からまつ 5』 政治大學
- 1996 「原因・理由を表す副詞節の一考察」『國立政治大學學報 72』